

# トランスファラブルスキル研修

## Transferable Skills Workshop

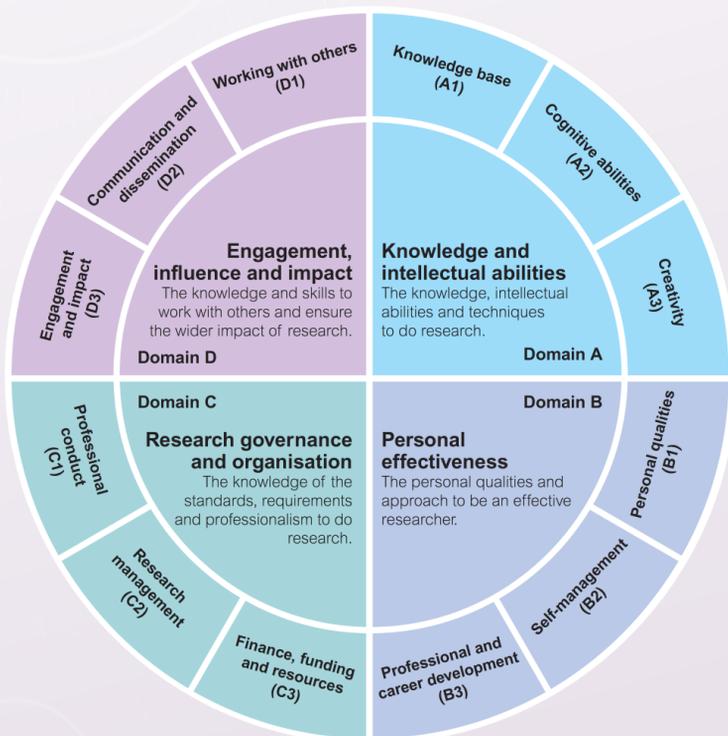
### ○ 東北大学での取り組み

本学では、博士課程(博士後期課程)の学生が専門分野を超えて活用できる様々なスキルの養成に力を入れています。

トランスファラブルスキル(Transferable Skills)とは『応用可能なスキル・汎用的能力』とも言われ、特に博士課程の学生については学位取得後のキャリアにおいて、幅広い職業選択の機会を確保する上でも重要なスキルとされています。自身の専門分野などの研究面におけるスキルだけでなく、研究を超えて、民間企業等のビジネス面でも有効に活用することができるスキルを身につけることを促しています。

本学では2021年度より、博士課程学生向けにトランスファラブルスキル研修を実施しております。本研修では、本学で開発したレクチャー動画やワークシートを用いつつ、さらに、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」の一環として実施されている『研究者のための+αシリーズ』のオンラインセミナー動画も参照しております。(p.2参照)

英国Vitaeが開発した【Researcher Development Framework; RDF(研究者開発の枠組み)】や【トランスファラブルスキル】について学び、そしてワークシートに取り組むことで、これまでどのようなスキルを取得していたかを自身の体験を振り返りつつ、博士課程での研究生活を通して伸ばしていかなければならないスキルなど、学生自身の課題を見極める内容となっています。(p.3-5参照)



#### ドメインA)知識と知的能力

- A1) 知識基盤
- A2) 認知的能力
- A3) 創造性

#### ドメインB)個人の能力

- B1) 個人の資質
- B2) 自己管理
- B3) 能力開発／キャリア開発

#### ドメインC)研究の管理運営

- C1) 専門家としての行動
- C2) 研究管理
- C3) 財務、資金調達、リソース

#### ドメインD)エンゲージメント、影響とインパクト

- D1) 他との協働
- D2) コミュニケーションと普及
- D3) エンゲージメントとインパクト

【参照】 Vitae RDF (Researcher Development Framework)

 Vitae, ©2011 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited [www.vitae.ac.uk/rdfconditionsofuse](http://www.vitae.ac.uk/rdfconditionsofuse)

国立研究開発法人科学技術振興機構 JREC-IN Portal <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekVitaeInformation>

## ○ 研修内容

- 1) レクチャー動画を順番に視聴し、適宜オンラインセミナー動画『研究者のための+ $\alpha$ シリーズ』(Vol.1, Vol.3, Vol.6)を視聴する。
- 2) トランスファラブルスキル、RDF等について学んだ後、ワークシートをもとに自身のトランスファラブルスキルについて、自己反省と自己開発に取り組む。

## ★ レクチャー動画

[YouTube 再生リスト『トランスファラブルスキル研修』\(外部サイト\)](#)

- レクチャー(1):Transferable Skills ~求められる理由~
- レクチャー(2):Transferable Skills ~RDF~
- レクチャー(3):Transferable Skills ~自己反省と自己開発~
- ワーク (4):Transferable Skills ~ワークの進め方~

## ★ オンラインセミナー動画 (JST ウェブサイト参照)

[研究者のための+ \$\alpha\$ シリーズ Vol.1オンラインセミナー\(外部サイト\)](#)

「What is Researcher Development? —英国Vitaeがすすめる研究者職能開発の取り組みとは—」

[研究者のための+ \$\alpha\$ シリーズ Vol.3オンラインセミナー\(外部サイト\)](#)

「The Benefits of Professional and Career Development for Researchers —研究者のポテンシャルを映し出すRDF—」

[研究者のための+ \$\alpha\$ シリーズ Vol.6オンラインセミナー\(外部サイト\)](#)

「The Importance of Career Development for Researchers」

~~~~~  
JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)

「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」

[『研究者のための+ \$\alpha\$ シリーズ』\(シリーズ一覧掲載URL:外部サイト\)](#)

~~~~~

## <ワークシート>

まず、レクチャー動画【ワーク(4):Transferable Skills ～ワークの進め方～】を視聴してから進めてください。

①RDFを参考にして、あなたの強みとなるスキルと、その証拠となるエピソードを3つ記述してください。

【1つ目】 あなたの強みとなるサブドメイン(例:A1/知識基盤など)を選んでください。

【1つ目】 上のサブドメインのスキルを活用した具体的なエピソードを、STARの枠組みを用いて記述してください。その際、サブドメインに含まれる具体的なスキル(記述子)も示してください。

◆Situation: How, when, where, with whom

◆Task: Describe the situation or the task you were faced with

◆Action: What action did YOU take?

◆Result: What results did you achieve/conclusions (did you reach/learn) from the experience?

【2つ目】 あなたの強みとなるサブドメイン(1つ目以外)を選んでください。

【2つ目】 上のサブドメインのスキルを活用した具体的なエピソードを、STARの枠組みを用いて記述してください。その際、サブドメインに含まれる具体的なスキル(記述子)も示してください。

◆Situation: How, when, where, with whom

◆Task: Describe the situation or the task you were faced with

◆Action: What action did YOU take?

◆Result: What results did you achieve/conclusions (did you reach/learn) from the experience?

【3つ目】 あなたの強みとなるサブドメイン(1つ目・2つ目以外)を選んでください。

【3つ目】 上のサブドメインのスキルを活用した具体的なエピソードを、STARの枠組みを用いて記述してください。その際、サブドメインに含まれる具体的なスキル(記述子)も示してください。

◆Situation: How, when, where, with whom

◆Task: Describe the situation or the task you were faced with

◆Action: What action did YOU take?

◆Result: What results did you achieve/conclusions (did you reach/learn) from the experience?

②RDFを参考に、あなたが「これから」成長させたいスキルと、そのための行動目標を3つ記述してください。

【1つ目】あなたがスキルを成長させたいサブドメイン(例:A1/知識基盤など)を選んでください。

【1つ目】上のサブドメインを成長させるための行動目標を記述してください。その際、SMART (Specific, Measurable, Achievable, Relevant, Time bound)の枠組みを意識しましょう。

【2つ目】あなたがスキルを成長させたいサブドメインを選んでください。

【2つ目】上のサブドメインを成長させるための行動目標を記述してください。その際、SMART (Specific, Measurable, Achievable, Relevant, Time bound)の枠組みを意識しましょう。

【3つ目】あなたがスキルを成長させたいサブドメインを選んでください。

【3つ目】上のサブドメインを成長させるための行動目標を記述してください。その際、SMART (Specific, Measurable, Achievable, Relevant, Time bound)の枠組みを意識しましょう。

## ◎謝辞

・本研修で参照したオンラインセミナー動画は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」の一環として開催された、「研究者のための+ $\alpha$ シリーズ Vol.1, Vol.3, Vol.6」の内容となります。

・本研修で用いたレクチャー動画／ワークシートの作成には、東北大学高度教養教育・学生支援機構の山内保典准教授にご協力いただきました。

●トランスファラブルスキル研修は、東北大学の博士学生に提供している「トランスファラブルスキル養成プログラム(DC)」の一部としています。

参照: <https://pgd.tohoku.ac.jp/rpc/transferable/>

●本学の大学院共通科目では、トランスファラブルスキルの涵養を目指した多様な科目を開講しています。

参照: [https://pgd.tohoku.ac.jp/rpc/subjects.html#program\\_navi](https://pgd.tohoku.ac.jp/rpc/subjects.html#program_navi)

●大学院共通科目のうち『博士リテラシーの基礎』では、トランスファラブルスキル(専門分野を越えて活用できるスキル)の養成だけでなく、専門分野を超えての交流、アカデミアや産業界で必須となる能力を增强するための実践的教育プログラムを実施しています。

参照: <https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/basicliteracy/>

(update) December 17, 2025

### 本件に関する担当組織・教員 Faculty in charge

東北大学 高等大学院機構 大学院教育推進センター

Tohoku University Advanced Graduate School, Center for Promoting Graduate Studies

担当教員: 梶田諒介 Ryosuke Kajita, Ph.D.

Email: ags-gradstudies●grp.tohoku.ac.jp (●を@へ変換してください)